

# 甲子園出場に

選手を支えた人たち

# 歓喜の声



選手の他に東高野球部を支えた監督、マネージャー、彦根球場の職員の方にも取材を行った。

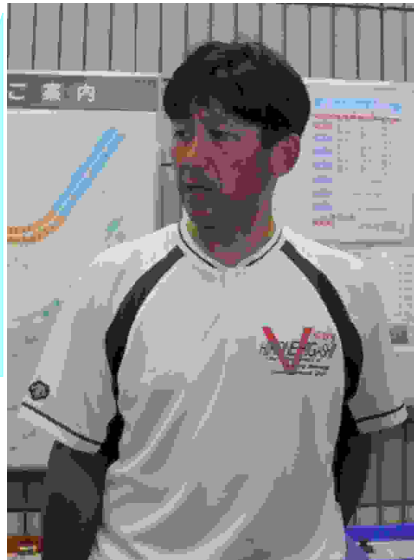


速報新聞

# キマグレ

発行所  
彦根東高等学校  
新聞部  
彦根市金亀町4番7号

▲心と体の安定が大切と語られる村中先生



## 東高の力は 全国でも通用する

### 村中隆之先生

村中隆之先生は3年前に前監督から引き継がれ、今の3年生が先生にとっての1年生から見た初めての野球部員であった。先生は彼らをどうやって育てたらいいのか、今まで受け継がれてきた野球部の練習内容をどのようにしたらいいのか悩み考えてこられたそうだ。そして、朝練習を自学

自習の時間の時間に変えるなど普段の生活を意識することを大切にされた。「朝練習をやめることには睡眠や食事、勉強にきちんと取り組み、心と体を安定するため」と村中先生。その

結果不注意な怪我がなくなっているようだ。初の夏の甲子園出場については「東高のバッテリーの力やバッティングの力は全国でもそこそこ通用すると思う。なんとしてでも初戦は勝ち抜いていきたい」と語ってくれた。

## やつと 土台に乗れた

### 谷口奈緒子さん

マネージャーの谷口奈緒子

さん(3-5)に話を聞いた。マネージャーは同学年やひとつ上の学年におらず1人で、自分を責めたりやめようかと悩んだ時期もあったそうだ。しかし、

「みんなの支えのおかげでここまでやってこられた」と笑顔を見せてくれた。甲子園出場が決まってから変わったことを尋ねると「滋賀県の代表として見られるようになったと感じる。テレビや新聞の取材がすごい」と話し、「決勝や練習で自信がよかった。やつと土台に乗れた感じがする」と力強く話してくれた。

## 自信を持つって 頑張るって

### 鈴木健太さん

彦根球場の職員の鈴木健太さんは「他の私立高校などを差し置いて優勝したことがすごいと思うし嬉しい」と話してくれました。彦根球場は普段から東高野球部が練習に使われていた



▲満面の笑顔を浮かべたマネージャー谷口さん

なかったと話された。普段は機械で固めた土を戻すなどの整備をしてくださっているそうだ。東高の野球部は「整備の手が足りないときに部員に手伝いを頼むことがあるが、嫌な顔ひとつせず親切に手伝ってくれる」そうで、「いつもあいさつができるなど、野球以外の行いもしっかりできたことが今回の優勝につながったのでは」とおっしゃった。甲子園に向けて「他の高校に勝つことに自信を持って、ひとつでも上に行けるように頑張りたい」とメッセージをいただいた。



▲彦根球場職員の鈴木さん